

こいるとさ、ちん下橋を渡り、ちん下橋
 は、川の流れも山や木が、ガードレール長
 ない自然とやさしい橋だ。雨が降ると
 水は、まぐじ、ちん下してしまいがちん下
 橋といふらしい。つまり、川の流れにさか
 かない橋という事だ。
 共通点は、自然にやさしいといふことだ。
 昔は、今よりも自然と触れ合っているんだ
 と思ってた。

川の水が引くと、いさいさ川へもどされ
 るしくみです。川の氷かさかましてくると、
 そこから氷が溶け出るしくみです。氷に送
 らわお、自然の性質を、いさいに利用した
 が、水をおさめようとしたのが信玄や清正の
 水でしだ。
 ぼくにも、似た話がある。4年生のころの
 友だちの新太くん、ぼくと、あんな
 くんのお母さん、お父さんと、ぼくのお母さ
 んお父さん、妹とカヌーに乗った。カヌーを乗

今ば、昔よりもしげんにさかるといふ
 しこいるということがあつた。

流す。
 のに、さ。
 川が流す。

かんざい。
 しにいげた。

のが、の。
 4が、の。
 川が流す。

川の
 水の
 川が流す。